

# 殿ヶ谷一座 第30回記念 奉納芝居

# 国定忠治

(くにさだちゅうじ)

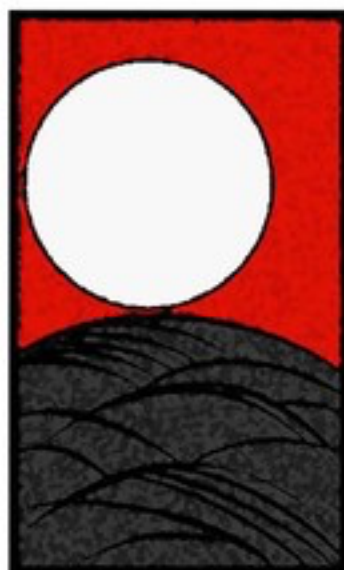
国定忠治・殿ヶ谷雄次  
清水の威杖・榎本順夫  
高山の定八・矢島政朗

旅籠我孫子屋の女主人・お滝・進藤裕貴子  
我孫子屋の申居・こはる・川崎悠陽  
旅籠大黒屋の主人・富兵衛・古川嘉久  
大黒屋の女将・お住代・阿豆佐妹むのぶ

目明し・月夜野の儀次・茶野真由美  
子分・佐吉・鈴木秀朗

舟渡山の勝風・別所安男  
子分・時蔵・神田収  
子分・森蔵・大野晴夫

代官・田沼惣右衛門・宮崎崇喜



座長・榎本雄次  
脚本・演出 鈴木秀朗

音楽制作 藤田勝良  
舞台背景 大野晴夫  
音楽 森久保重寿  
小道具 矢島工房  
音楽プラン 鈴木秀朗  
会計 矢島政朗



殿ヶ谷一座に関するお問合せは  
専用メールフォームより  
<https://form.lsl.fc2.com/form/704-dc016c0b45841023>

「赤城の山も今宵限り…」

上州国定村の生まれの侠客・国定忠治は、天保の大飢饉の際、民衆を救うために、正政を強いる代官を斬った罪によって、逃亡中の身であった。

あてもない旅の途中、訪れたとある宿場町で、我孫子屋という旅館に泊まる。そこは、女主人のお滝と申居のこはるが二人で営む、樹下の小さな宿であったが、飯が美味しい評判で、忠治は東の関の休息を楽しんでいた。そんな折、この一帯を治める代官・田沼惣右衛門は、宿場の宿を無理やり全部立ち退かせ、幕府公認の賭博場や娯楽施設を備えた一大観光地を建設する計画を立て、旅籠・大黒屋がその事業を請け負う。大黒屋の吉兵衛とお住代は、さっさと我孫子屋を手に入れようと策を練る…

平成元年に旗揚げした殿ヶ谷一座も、おかげさまで今年で30周年を迎える運びとなりました。節目の年を記念して、旗揚げ時の演目「国定忠治」を題材に選び、今年もオリジナル脚本で、みなさまに楽しんでいただければ幸いです。精一杯つとめます。ご期待ください。



西武伊豆川駅「西武伊豆川」駅北口より徒歩16分

## 平成30年10月6日(土)夜8時より

殿ヶ谷まつり特設舞台にて

西砂町・阿豆佐妹天神社境内  
(茨川市西砂町5-10)

小雨決行 水戸銭無料

※演目プログラムの進行状況により、開演時間が前後する場合がございます。お時間に余裕をもってお出かけください。